国

令和八年度　看護学部学校推薦型選抜（公募制）問題用紙

国語

一　次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

著作権の都合により、ホームページでは
掲載しておりません。

著作権の都合により、ホームページでは
掲載しておりません。

著作権の都合により、ホームページでは
掲載しておりません。

著作権の都合により、ホームページでは
掲載しておりません。

（二〇〇四年に出版された齋藤孝の『コミュニケーション力』による）

問一　二重傍線部a～jのカタカナは漢字に直し、漢字は読み方をひらがなで答えなさい。

a　ボウダイ　　b　精緻　　c　キカン
d　オチイりやすい　　e　仏頂面
f　頻繁　　g　ジュンカツユ　　h　煩わしさ
i　トりツクロおう　　j　著しく

問二　文中の空欄（　A　）～（　E　）にあてはまる言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。ただし、一つの言葉を二回以上使ってはいけません。

ア　典型的　　イ　意識的　　ウ　言語的　　エ　身体的　　オ　肯定的
カ　否定的　　キ　本格的　　ク　感情的　　ケ　主観的　　コ　客観的

問三　文中の空欄(1)～(3)に、適切な言葉を入れて慣用句を完成させなさい。

問四　文中の空欄［　　ア　　］・［　　イ　　］にあてはまる組み合わせとしてふさわしいものを次の中から選び、番号で答えなさい。

1　ア　目を丸くしている　　イ　目を丸くさせている
2　ア　目が曇っている　　イ　目を曇らせている
3　ア　目が据わっている　　イ　目を据えている
4　ア　目を三角にしている　　イ　目を三角にさせている
5　ア　目が泳いでいる　　イ　目を泳がせている

問五　傍線部①「これ」の指示内容を答えなさい。

問六　傍線部②「言葉が…届きやすい。」とありますが、「目」がコミュニケーションにおいて、大きな力を持つことを表す十文字程度の慣用句を考えて答えなさい。

問七　傍線部③「アイコンタクトで線を作り、対角線を増やしていく」とはどういうことか、次の空欄に適当な語句を補いなさい。

その場にいる人々と次々アイコンタクトをとって、（　　）を増やしていくこと

問八　傍線部④「頷き率で身体の冷え加減がかなりの程度わかる。」とありますが、冷えた身体の特徴を、最もよく表している一文を本文中から抜き出して、最初の三文字で答えなさい。

問九　傍線部⑤の三つの空欄にあてはまる、三つの漢字を入れなさい。（順番は問わない）

問十　傍線部⑥と同じ内容を表している一文を本文中から抜き出して、最初の三文字で答えなさい。

問十一　傍線部⑦と同じ内容を表す語句を本文中から七文字で抜き出しなさい。

問十二　次の各文の内容が、本文と一致しているならば〇、一致していないならば×を記入しなさい。

ア　外国の若者は日本の若者と比べると、相手の話に大きく反応する傾向が強いように見受けられる。

イ　最近の日本の子どもたちは「個」を好んではいるが、人と関わりたくないと思う者が増えているわけではない。

ウ　身体が響き合うことも大切だが、やはりコミュニケーションの中心は言葉でのやりとりである。

エ　会話をする場合、からだの次元のコミュニケーションにおいて呼吸(息)を合わせることは大切なポイントである。

オ　『浮世風呂』の時代の日本人は身体が触れ合うことをいとわなかったが、それは今の日本人でも全く変わっていない。

二　次のア～コの短文がすべて正しい漢字で書かれている場合には〇を、間違いの漢字（一字）を含む場合にはその間違いを直した正しい漢字を、解答欄に記入しなさい。

ア　企業は利益の追及だけでなく社会貢献もしている。

イ　集団で活動するときは軽卒な行動を慎んでほしい。

ウ　高熱が続いたため病院で下熱剤を処方された。

エ　この段階でのプロジェクトの中止は苦汁の選択である。

オ　ノーベル賞の厳粛な受賞式の様子をテレビで見た。

カ　左目に少し異和感があったので眼科を受診した。

キ　事態は余断を許さない緊迫状態にある。

ク　赤ちゃんは眠くなると気嫌が悪くなることが多い。

ケ　彼にこの仕事を任せるのは時期尚早かもしれない。

コ　血液の循還をよくするよう服薬を続ける。